

松禪寺報

石室山松禪寺

住職 高橋 乾峰

〒 668-0363

兵庫県豊岡市但東町栗尾 469

電話 0796-55-0034

FAX 0796-55-0066

Mail kenpou@syozen.com

第 109 号

<https://syozen.com>

<https://www.facebook.com/syozenji>

発行日 令和 6 年 7 月 25 日



亡き人と心通わせるお盆

いただきより水そそぎけりみ墓石
さやけく濡れて光るしづけさ

古泉千樫

墓石に水をそそげば濡れに濡る
いざ歸りなむ妻よわが家に

窪田章一郎

夏がくれば甲子園を思い起こす

人もあれば、亡き人と心を結ぶお盆やお墓参りを思う人もあるでしょう。冒頭の二つの短歌は、いずれも墓参を詠んだものです。「いざ歸りなむ妻よわが家に」と、故人の精霊を迎える季節です。

亡くなった人の冥

福を祈って行う法要を、一般に法事といいますが、亡き人のために善い行いをして、その功德を精霊にさしむけるという意味で、追善供養ともいいます。追善とは追福修善を略した言葉です。故人の冥福を祈り、遺族が善行を積むことをいいます。

また供養というのには、供給資養を略した言葉で、仏様と霊位にお供えをし、僧侶に読経していただいて布



な意味を持った大切なおつとめです。今年もお盆の季節がやってまいりました。お盆に限りませんが、普段から仏壇に手を合わせ、お香や水や花を供え、お墓参りをし、お施餓鬼に参られ、柵経をしてもらうなど、理屈はどうであれ皆さんは普段から供給資養に努めておられます。それは仏様への感謝であり、亡くなったご先祖さまに対する自然な感謝や追慕の表れですから、その心こそが追善供養になるのです。

故人を偲び懐かしむとき、故人は皆様の胸の中に生前と変わりない姿で蘇ってきます。お盆は、亡き人と心を通わせ、さらに仏様と心を通わせる善い時なのです。

施をする、さらに有縁無縁を問わず仏果（仏を信仰することによって得られるよい結果）を願う慈悲の心を持ち、そのことによって仏果増進を資け、また自分自身の心も浄く養うことができる、そのような意味を持った大切なおつとめです。

“やくつさん”のお祭りを開催

栗尾ふるさと委員会が法要、お話し会、餅まきなど実施

梅雨の晴れ間の猛暑日に、松禪寺では栗尾ふるさと委員会（委員長・藤田正一さん）主催による薬師祭を、7日（日）午後1時半より開催しました。約25人のお参りをいただきました。

午前11時から本堂で写経を、午後1時半から境内の薬師堂で法要を執り行い、参拝者皆さんと一緒に般若心経などを唱えました。法要では栗尾薬師如来の功德により参拝者皆さんの健康と世の中の安寧を祈りました。

午後2時から、寺の近所の空き家を借りて杞柳細工の活動を行っておられる「柳と暮らしONTO（オント）」の岡井見恩子さんにお越しいただき、『伝統をもう一度、日常へ。』しなやかな心で」と題して、今の活動に至るまでを話していただきました。

岡井さんは、大学時代にエシカル消費（人・



▲岡井さんのお話しに聴き入る皆さん

社会・環境に配慮した消費）について学んだことが転機となり、「大切に作られたモノを、大切に使う」生活を心掛けるようになったといいます。ものづくりに強い関心があったことから、エシカルファッションの製造をする企業での勤務を経て、2021年4月に豊岡市に移住。地域おこし協力



「柳と暮らしONTO」
岡井 見恩子さん



▲ホームページ

最後に、お薬師さんにお供えたお餅の餅まきを行いました。快晴のもとにぎやかな歓声が境内に響き渡りました。ことしも無事に薬師祭を終えることができました。参拝者皆さん、ふるさと委員皆さんにお礼申し上げます。ありがとうございました。



▲晴天に恵まれ餅まきも和やかに

隊として、より理想に近く魅力的に感じた「豊岡杞柳細工」の伝統継承プログラムにて活動を開始されました。柳の栽培から材料加工、製作、販売までを学び、2024年4月に任期を終え、工房「柳と暮らしONTO（オント）」を開設されました。製作だけでなく、豊岡の伝統を身近に感じてもらうためにカゴ編みワークショップも行われています。一つのものを長く継いながら

使うことで「育てる楽しみ」を知って頂きたい、という想いで活動されています。

岡井さんの希望は、「生活様式に合った魅力ある製品をつくることで、若い方にも興味を持っていただきたい」、そして、工房にも気軽に来ていただきたいと話されました。工房の最新情報はインスタグラムにて発信されています。

大本山妙心寺へお参りしましょう

知らせください。

ニュースなどで報道

されている物流業界の

「2024 年問題」をご存じでしょうか。運

転手の労働環境を改善する目的で厚生労働省

より出された「自動車運転者の労働時間等の

改善のための基準」（令和 6 年 4 月 1 日施行）

のことで。貸切バス運転者の改善基準告知

も含まれており、運転手の一日拘束時間を「継

続 11 時間を基本とし、9 時間下限」となりま

す。例えば午前 7 時に出発した場合、午後 6

時までには帰ってこなければなりません。「拘束時間」とは、お客様を乗せていない時間や休憩時間も含まれます。

よって、乗降場所を細かく分けることも時間を要す原因ですし、妙心寺で法要に参加してから食事会場までバスで移動していましたが、花園会館で法要後すぐに食事をとり、後は何処も観光せずに帰ってくるという、あわただしい日程を組まざるを得ません。皆様のご理解をお願いいたします。

ぜひ、大本山妙心寺へのお参りへご参加ください。

興祖微妙大師 650 年遠諱大法会 遠諱参拝

遠諱予修参拝期間

令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日

遠諱大法会期間前の 1 年間を遠諱予修参拝期間とし、遠諱法要（微妙大師 650 回忌法要並びに参拝者の先祖供養）を厳修いたします。

※遠諱団参：令和 7 年 4 月 1 日から遠諱大法会期間終了までの 2 年間、団体参拝は遠諱団体参拝としての受け入れとなります。

遠諱大法会期間

令和 8 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日

遠諱大法会期間中は遠諱団体参拝に加え、個人の参拝も可能です。詳細は妙心寺のホームページを参照してください。遠諱特別参拝は、令和 9 年 3 月 27・28 日の正法要前、3 月 15 日～19 日・22～26 日の 10 日間となります。

松禪寺・桂昌寺主催

大本山妙心寺参拝の旅

拝啓 盛夏の候、檀信徒の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は菩提寺の護持に多大の御尽力を賜わり厚く御礼申し上げます。
この度、松禪寺・桂昌寺花園会主催にて本山への団体参拝を計画いたしました。大本山妙心寺では法堂参拝をしていただきます。
昼食は花園会館で京会席料理をお召し上がり頂く内容となっております。
ぜひ皆様お誘い合わせのうえご参加くださいますようお願い申し上げます。 合掌

◆旅行期日 令和 6 年 10 月 28 日（月）[日帰り]

◆旅 費 16,000 円（本山での団体参拝料含む）

◆申込方法 9 月 25 日（水）までに申込書に旅費を添えて松禪寺までお申込下さい。詳しいご案内は出発日が近付きましたらご連絡申し上げます。



【大本山 妙心寺】

◆旅程（全行程貸切観光バス利用）

西谷・桂昌寺～各地区——京丹波味夢の里——（京阪貴賓道）——大本山妙心寺（法堂参拝）……
7:00 発～ 9:05～9:20 10:20 着 【11:00～12:00 団体参拝】
……（徒歩）……花園会館（昼食）——京丹波味夢の里（貴物）——各地区～西谷・桂昌寺
13:00～14:00 15:00～15:30 ～17:20 頃

※旅程は道路事情により多少変更が生じる場合があります。ご了承下さい。

◆お申込み・お問合わせ

松 禪 寺

〒668-0363 豊岡市但東町栗尾 469

TEL 079-655-0034

◆手配旅行業者
株式会社ピーエス観光名産販売所
〒460-0002 愛知県名古屋市中区金山 2 丁目 1-24
TEL 052-332-1281 FAX 052-332-1288
担当：田村 正人

松禪寺・桂昌寺本山参拝の旅

申 込 書（9 月 25 日締め切り）

令和 6 年 月 日

参加者名 年齢 才

参拝之証を必ず忘れずに申し込み下さい。

参拝之証のスタンプが 4 個・9 個・14 個ある方は

○印をして下さい。表彰があります。

・ 4 個 ・ 9 個 ・ 14 個

松禪寺 御中

松禪寺・桂昌寺本山参拝の旅

領 収 書

令和 6 年 月 日

様

16,000 円

（但し、旅費として）

松 禪 寺 印

お せ が き

8 月 7 日（水）
午前 10 時より

ペットボトル茶をご用意しています

身に与えられた生命に感謝する意味合いもあります。

今年も多数の和尚様により法要を執り行います。施餓鬼はもともと初盆など特定の霊を供養するだけのものではなく、ご先祖様を始め、志す精霊にご供養することによって施主皆様の現世安穩が得られるといわれています。

大変暑い時期ではありますが、先祖供養のために多くのお参りをお待ちしております。

なお、施餓

鬼会の日程と今年初盆を迎えらる方は左表のとおり

です。



施餓鬼会は、お釈迦様の十代弟子のお一人、阿難尊者（あなんそんじや）の故事により、飲食供養（おんじきくよう）の功德により亡者（もうじや）を救う行事として起こったものです。「餓鬼に施す」と書きますが、餓鬼とは六道（ろくどう）（地獄道、餓鬼道、畜生道、修羅道、人間道、天道）のひとつで、苦しみの世界であり、食べ物がない飢えの世界なのです。しかも、餓鬼は自分の力で餓鬼世界から抜け出すことができないため、施餓鬼供養がその救いの道とされています。有縁（うゑん）はもとより、無縁（むゑん）の衆生（しゅじやう）に対しても供養する法要であり、自分自

順番	施主	住所
1	山門施餓鬼、添施餓鬼	
2	栗田家（衣川昇様）	平田
3	中島 英三 家	三木市
4	中島 利樹 家	長野県・朝日村
5	樫本 昌博 家	佐々木
6	栗田 孝 家	平田
7	鶏魂供養	栗尾

令和 6 年度棚経の日程（予定）

棚経実施日	地 域
8月8日（木）	（遠方）
8月9日（金）	清滝→本城→柴地→山根→貝田
8月10日（土）	久畑→石原→佐田→大貝→平田→佐々木
8月11日（日）	南尾→出石町（午前）
8月12日（月）	豊岡市→和田山町→福知山市→岩滝
8月13日（火）	西谷

まもなくお盆を迎えます。お盆は、普段から何も催促なされないご先祖さまとの語らいの時でもあります。8月13日が迎え火にあたり、16日が送り火です。お墓をきれいに掃除して、ご家庭では仏壇を丹念に掃除して、お花、ろうそく、お線香、果物、お菓子、季節の野菜などを供えます。

お寺からは、8月8日から13日まで、棚経といって各檀家を廻って回向いたします。右表の日程で参る予定ですが、諸般の都合から急遽変更する場合もありますので、あらかじめご了承ください。朝から廻りはじめますが、後半は午後になります。